

長谷川貞之教授

主要業績

長谷川貞之教授 主要業績

【著 書】

(一) 単著・共著・共編著

- 『法的思考のパラダイム・裁判例を通してみる民法解釈理論と民事立法学』（単著）青山社、一九九八年
- 『要論物権法』（共著）青林書院、一九九二年
- 『要論債権総論』（共著）青林書院、一九九三年
- 『要論債権各論Ⅰ「契約法」』（共著）青林書院、一九九九年
- 『要論民法総則「改訂版」』（共著）青林書院、二〇〇一年
- 『へ司法試験のための民法レベルアップ講座』（共著）辰巳法律研究所、一九九九年
- 『金融・消費者取引判例の分析と展開』（共編著）経済法令研究会、二〇一〇年
- 『担保権信託の法理』（単著）勁草書房、二〇一一年
- 『メディアによる名誉毀損と損害賠償』（共編著）三協法規出版、二〇一一年
- 『委任の任意解除権』（単著）成文堂、二〇一三年
- 『物権・担保物権法』（共著）（北大路書房、二〇一三年）

(二) 分担執筆

- 『新版 演習民法 (相続) 〈新演習法律学講座 7〉』 (遠藤浩ほか編) 青林書院、一九八五年
- 『法学基礎演習 (1) 「民法」』 (遠藤浩・川島一郎編) 有斐閣、一九八六年
- 『新版 演習民法 (総則・物権) 〈新演習法律学講座 4〉』 (遠藤浩ほか編) 青林書院、一九八九年
- 『注解不動産法 2 「建築・請負」』 (遠藤浩・小川英明編) 青林書院、一九八九年
- 『〈論文試験〉 民法総則・物権』 (山川一陽編) 法学書院、一九九一年
- 『消費者保護の法律問題』 (森泉章、池田真朗編) 勁草書房、一九九四年
- 『契約実務書式百科』 (遠藤浩編) ぎょうせい、一九九五年
- 『借地借家法の理論と実務』 (澤野順彦ほか編) 有斐閣、一九九七年
- 『法律行為無効の研究』 (椿寿夫編) 日本評論社、二〇〇一年
- 『みぢかな法学入門 「第二版」』 (石川明編) 不磨書房、二〇〇二年
- 『現代民法学の理論と課題』 (清水暁ほか編) 第一法規出版、二〇〇二年
- 『解説 類推適用からみる民法』 (椿寿夫・中者寛樹編) 日本評論社、二〇〇五年
- 『民法判例演習』 (伊藤進・織田博子編) 北樹出版、二〇〇五年
- 『〈基本法コンメンタール〉 物権 (平成一六年民法現代化「第五版」新条文対照補訂版』 (遠藤浩・鎌田薫編) 日本評論社、二〇〇五年
- 『〈基本法コンメンタール〉 債権各論 I (契約) (平成一六年民法現代化「第四版」新条文対照補訂版』 (遠藤浩編) 日本評論社、二〇〇五年

本評論社、二〇〇五年

- 『解説 関連でみる民法Ⅰ』（椿寿夫、新美育文編）日本評論社、二〇〇七年
- 『解説 関連でみる民法Ⅱ』（椿寿夫、新美育文編）日本評論社、二〇〇七年
- 『信託法Q&A…実務解説』（加除式）（今井和夫ほか編）ぎょうせい、二〇〇八年
- 『社会の変容と民法典』（岡谷俊編）成文堂、二〇一〇年
- 『判例プラクティス民法Ⅱ債権』（松本恒雄、潮見佳男編）信山社、二〇一〇年
- 『解説 新・条文にない民法』（椿寿夫、中舎寛樹編）日本評論社、二〇一〇年
- 『法人保証・法人根保証の法理―その理論と実務―』（椿寿夫ほか編）商事法務、二〇一〇年
- 『代理の研究』（椿寿夫、伊藤進編）日本評論社、二〇一一年
- 『エッセンシャル ビジネス法務』（藤川信夫、松嶋隆弘編）芹書房、二〇一一年
- 『支払決済の法としくみ』（根田正樹、大久保拓也編）学陽書房、二〇一二年
- 『多角的法律関係の研究』（椿寿夫、中舎寛樹編）日本評論社、二〇一二年
- 『財産法の新動向』（清水元ほか編）信山社、二〇一二年
- 『非典型契約の総合的検討』（椿寿夫・伊藤進編）商事法務、二〇一三年
- 『強行法・任意法でみる民法』（椿寿夫編）日本評論社、二〇一三年
- 『民法改正案の検討 第一巻』（岡谷俊編）成文堂、二〇一三年
- 『民法改正案の検討 第二巻』（岡谷俊編）成文堂、二〇一三年

『民法改正案の検討 第三卷』(円谷俊編) 成文堂、二〇一三年

『民法における強行法・任意法』(椿寿夫編) 日本評論社、二〇一五年

『三角・多角取引と民法法理の深化』(椿寿夫編) 商事法務、二〇一七年

『強行法・任意法の研究』(近江幸司、椿寿夫編) 成文堂、二〇一八年

『〈新基本法コンメンタール〉物権』(鎌田薫ほか編) 日本評論社、二〇二〇年

【学術論文】

「土地工作物責任の一考察―土地工作物から生じた火災失火責任法との関係―」慶應義塾大学大学院法学研究科論文
文集二三号 (一九八六年)

「譲渡担保における『受戻権』の時効消滅と期間制限」慶應義塾大学大学院法学研究科論文集二四号 (一九八六年)

「動物占有者責任について―判例・条例と比較法―」判例タイムズ五五一号 (一九八五年)

「住宅における動物の保有(上)」判例タイムズ六六一二号 (一九八八年)

「住宅における動物の保有(下)」判例タイムズ六六二号 (一九八八年)

「譲渡担保の法的構成と受戻権」半田正夫編『現代判例民法学の課題』(森泉章還暦記念論集) (一粒社、一九八八年)

「法典編纂から見た『被害者の過失』―ローマ法からドイツ民法典の成立まで (二)」駿河台法学通巻二号 (一九八八年)

「法典編纂から見た『被害者の過失』―ローマ法からドイツ民法典の成立まで (三)」駿河台法学三卷一号 (一九八九年)

「法典編纂から見た『被害者の過失』―ローマ法からドイツ民法典の成立まで (三)」駿河台法学三卷二号 (一九九〇年)

「法典編纂から見た『被害者の過失』——ローマ法からドイツ民法典の成立まで（四・完）」駿河台法学四卷一号（一九九〇年）

「イギリス不法行為法における寄与過失の堀とその理論的基礎（上）」駿河台法学五卷一号（一九九一年）

「イギリス不法行為法における寄与過失の堀とその理論的基礎（下）」駿河台法学五卷二号（一九九二年）

「過失相殺の理論史的系譜『被害者の過失』理論——法典編纂から見た過失相殺の意義と被害者の過失類型に立脚して——」（博士論文）（慶応義塾大学、一九九二年）

『準信託』としての『徳義的信託 (honorary trust)』のわが国への導入可能性——人間以外のものを受益者とする信託設定を一つの手掛かりとして——信託法研究一六号（一九九二年）

「法理としての『比較過失』の制度的意義」駿河台法学六卷一号（一九九二年）

「根抵当権の被担保債権と保証債務」（半田正夫還暦記念論集）森泉章編『民法と著作権法の諸問題』（法学書院、一九九三年）

「土地・建物の共同担保において建物が滅失し再築された場合と法定地上権の成否」ジュリスト一〇一五号（一九九三年）

「接境建築の法理と立法趣旨の再検討」駿河台法学七卷一号（一九九三年）

「クレジットカード」森泉章・池田真朗編『消費者保護の法律問題』（勁草書房、一九九四年）

「土地および建物の移転登記と決定地上権の成否」銀行法務21五一一号（一九九五年）

「建物譲渡特約付借地権の創設と利害調整」駿河台法学八卷二号（一九九五年）

- 「開発危険の抗弁と製造物責任の特質」駿河台法学九卷一号（一九九五年）
- 「土地信託における信託登記の理論と実際」駿河台法学一〇巻一号（一九九六年） 八三頁
- 「建物の合棟・合体と抵当権の効力」ジュリスト一〇九三号（一九九六年）
- 「建物譲渡の相当の対価」水本浩編『借地借家法の理論と実務』（有斐閣、一九九七年）
- 「立木トラストにおける立木所有権のあり方と明認方法」駿河台法学一一巻一号（一九九八年）
- 「素因減責論の新展開に見る過失相殺法理の拡張的適用の意義」駿河台法学一一巻二号（一九九八年）
- 「債権証書等の喪失」銀行法務21 五八二号（二〇〇〇年）
- 「アメリカのペット法事情」法律時報七三巻四号（二〇〇一年）
- 「銀行取引約款の変遷と損失負担・免責条項」駿河台法学一四巻二号（二〇〇一年）
- 「無効行為の転換」椿寿夫編『法律行為無効の研究』（日本評論社、二〇〇一年）
- 「犯罪被害者の損害回復と附帯私訴・刑事和解の制度」比較法文化（駿河台大学比較法研究所）（二〇〇一年）
- 「異主体の請求権競合と損害の複数関与者の責任」〈遠藤浩先生傘寿記念〉『現代民法学の理論と課題』（第一法規出版、二〇〇二年）
- 「不真正連帯債務の類型的思考と求償権・負担部分」駿河台法学一六巻一号（二〇〇二年）
- 「アメリカの裁判例にみるペット動物の法的地位」比較法文化（駿河台大学比較法研究所）一一号（二〇〇二年）
- 「プロジェクト・ファイナンスにみる新しい資産担保手段と法律上の問題点」獨協法学六一号（二〇〇三年）
- 「不真正連帯債務（上）」NBL七六八号（二〇〇三年）

「不真正連帯債務（下）」NBL七七〇号（二〇〇三年）

「根保証」NBL七九二号（二〇〇四年）

「根保証の立法化をめぐる問題」獨協法学六四号（二〇〇四年）

「法人根保証、経営者の個人根保証」NBL八二六号（二〇〇六年）

「貸金等根保証契約をめぐる諸問題」獨協ロー・ジャーナル一号（二〇〇六年）

「代理における信認関係―受任者・代理人の忠実義務と信認代理」法律時報七九卷五号（二〇〇七年）

「委任・代理と信認関係、忠実義務」民法情報二四九号（二〇〇七年）

「担保権の設定と信託の形式で行う場合のいわゆるセキュリティ・トラストとその法律関係」（特集「信託法とその活用」）自由と正義五九卷四号（二〇〇八年）

「弁済の提供および受領遅滞規定をどう見直すか」椿寿夫ほか編『民法改正を考える』（法律時報増刊）（日本評論社、二〇〇八年）

「信託の特質・その多様性と多角的法律関係」法律時報八一卷一号（二〇〇九年）

「アメリカにおける獣医師の民事責任」獨協ロー・ジャーナル四号（二〇〇九年）

「信託を用いた担保権の設定（いわゆるセキュリティ・トラスト）と債権者の関与」民法情報二七〇号（二〇〇九年）

「法制審議会信託法部会の審議からみた担保権信託（いわゆるセキュリティ・トラスト）の意義と立法課題」日本法学七五卷一号（二〇〇九年）

「日本における獣医療過誤訴訟と獣医師の民事責任」自由と正義六〇卷一二号（二〇〇九年）

「物的担保における担保権者と被担保債権の債権者との分離について」日本大学法学部編『日本大学法学部創設一二〇周年記念論文集』（日本大学、二〇〇九年）

「民法学の立場からみたウイーン売買条約」（日本大学法学部創設一二〇周年記念シンポジウム）法学紀要（日本大学）五一巻（二〇〇九年）

「シンジケート・ローンにおける担保取得と担保権信託の活用」日本法学七五巻二号（二〇一〇年）

「新農地法と農地の「利用」をめぐる問題」JA金融法務四七〇号（二〇一〇年）

「貸金等根保証契約の適用範囲とその外延——法人保証を含めた根保証規定の見直しのために——」椿寿夫ほか編『法人保証・法人根保証の法理——その理論と実務——』（商事法務、二〇一〇年）

「無体財産権の管理・利用とライセンス契約」NBL九二七号（二〇一〇年）

「平成の農地改革と農地貸借の自由化——所有から利用への政策転換が意味するもの——」日本法学七六巻二号（二〇一〇年）

「信認関係と忠実義務——信認型契約の創設を構想する立場からの提言——」円谷峻編『社会の変容と民法典』（成文堂、二〇一〇年）

Perspectives on the CISG from the Viewpoint of Japanese Civil Law, Nihon University Comparative Law: Special Issue in Commemoration of the 120-Year History of the Nihon University College of Law, Comparative Law Institute 2010.

「信認代理の法理——代理人の忠実義務と利益掃出し効果を中心に——」椿寿夫Ⅱ伊藤進編『代理の研究』（日本評論社、

二〇一一年)

「名誉毀損の法理と歴史的展開」長谷川貞之ほか共編著『メディアによる名誉毀損と損害賠償』（三協法規出版、二〇一一年）

「名誉毀損と損害賠償」長谷川貞之ほか共編著『メディアによる名誉毀損と損害賠償』（三協法規出版、二〇一三年）

「第三者のためにする契約と適用範囲の類型化をめぐる問題」日本法学七七卷一号（二〇一一年）

‘EU Transactions Law and Japanese Civil Law — The Idea of “Euro-hypotec” and Its Implications in the Interpretation of Japanese Civil Law’, *Comparative Law Vol. 28* (2011).

「相殺と交互計算」根田正樹Ⅱ大久保拓也編『支払決済の法としくみ』（学陽書房、二〇一二年）

「第三者のためにする契約と多角的法律関係」椿寿夫Ⅱ中含寛樹編『多角的法律関係の研究』（日本評論社、二〇一二年）

「信託の特質・その多様性と多角的法律関係」椿寿夫Ⅱ中含寛樹編『多角的法律関係の研究』（日本評論社、二〇一二年）

「担保権信託とパラレル・デットによる担保権設定の代替補完性」〈平井一雄先生喜寿記念〉清水元ほか編『財産法の新展開』（信山社、二〇一二年）

「EU取引法と日本法への示唆」『ユーロ抵当』構想をめぐる議論を中心に」法学紀要（日本大学）五三卷（二〇一三年）

「連帯債務—連帯債務の要件、連帯債務者の一人について生じた事由の効力等」円谷峻編著『民法改正案の検討第一卷』（成文堂、二〇一三年）

「多数当事者の債権及び債務—総論」円谷峻編著『民法改正案の検討第一卷』（成文堂、二〇一三年）

「根保証」円谷峻編『民法改正案の検討第一卷』（成文堂、二〇一三年）

「相殺権の濫用」 凹谷峻編『民法改正案の検討 第二卷』（成文堂、二〇一三年）

「法定相殺と差押え、相殺予約の効力」 凹谷峻編『民法改正案の検討 第二卷』（成文堂、二〇一三年）

「第三者のためにする契約」 凹谷峻編『民法改正案の検討 第三卷』（成文堂、二〇一三年）

「役務提供型の典型契約（雇用、請負、委任、寄託） 総論」 凹谷峻編『民法改正案の検討 第三卷』（成文堂、二〇一三年）

「判例・学説における物権規定の強行法性」 法律時報八四卷一〇号（二〇一三年）

「第三者のためにする契約の意義と民法五三七条二項の強行法規性」 法律時報八五卷一〇号（二〇一三年）

「信託の担保的利用とその展開——担保目的の信託とはどのようなことをいうのか——」 〈村田彰先生還暦記念論文集〉

『現代法と法システム』（酒井書店、二〇一四年）

「受益権化された財産権の担保と受益権質権の効力」 日本法學八〇卷二号（二〇一四年）

「判例・学説にみる物権規定の強行法性」 椿寿夫編『民法における強行法・任意法』（日本評論社、二〇一五年）

「委任における任意解除権の規範的性質」 日本法學八〇卷三号（二〇一五年）

「第三者のためにする契約と多角取引」 椿寿夫編『三角・多角取引と民法法理の深化』別冊NBL一六一号（商事

法務、二〇一六年）

「目的信託としてのペット信託の現状と課題——アメリカにおける二つの統一法典、各州のペット信託法の展開を参
考にして——」 日本法學八一卷四号（二〇一六年）

「契約上の地位の譲渡——隠れた多角・三角——取引と多元的な契約理論への転換の可能性」 NBL一〇八八号

（二〇一六年）

「損害賠償命令制度の意義と機能―刑事司法のパラダイム転換による損害賠償制度の再構築の可能性―」日本法学
八二卷二号（二〇一六年）

「財産上の負担を伴う表現行為の規制と「やむに已まれぬ利益」―ニューヨーク州サムの息子法をめぐる違憲判決
を中心に―」日本法学八二卷二号（二〇一六年）

「契約上の地位の譲渡と多角の視点（1）」月刊社労士五二卷一―号（二〇一六年）

「契約上の地位の譲渡と多角の視点（2）」月刊社労士五二卷一―号（二〇一六年）

‘Transfer of Contractual Positions in Japan — Possibility of Developing a Legal Principle towards Multiple
Viewpoints in Pluralistic Contract Theory’, *Comparative Law Vol.33* (2017)

「過失相殺」伊藤文夫・編集代表『人身損害賠償法の理論と実務』（保険毎日新聞社、二〇一七年）

「委任の解除に関する判例法理の条文化と半強行法規性」日本法学八四卷三号（二〇一八年）

「新民法と強行法・任意法―請負・委任における契約不適合責任、解除を中心に―」近江幸治Ⅱ椿寿夫編『強行
法・任意法の研究』（成文堂、二〇一八年）

「委任における委任者の任意解除と『受任者の利益』―債権法改正過程から見えたもの―」日本法学八五卷二号
（二〇一九年）

「委任契約の終了と任意解除権」NBL一一五―号（二〇一九年）

「市場のプラットフォーム化をめぐる契約上の諸問題」日本法学八五卷四号（二〇二〇年）

「スマートコントラクトによる契約と伝統的契約理論」日本法学八六卷二―三号（二〇二〇年）

「デジタルプラットフォーム事業者の法的地位と契約上の責任」日本法学八七巻二号（二〇二二年）

「デジタルプラットフォーム（DPF）取引透明化法に導入された『共同規制』の意義とDPF提供者の役割」日本法学八七巻四号（二〇二二年）

「ブロックチェーンベースのスマートコントラクトにおける合意形成と契約理論」日本法学八八巻二号（二〇二二年）

【解説・論評】

「安全配慮義務の内容・性質および適用範囲」ハイ・ローヤー一一五号（一九九二年）

「目からウロコが落ちる民法ガイド」（共著）法学セミナー四六九号（一九九四年）

「主債務の時効完成後の保証債務の承認と主債務の時効援用」ハイ・ローヤー一二一号（一九九五年）

「不当利得と転用物訴権」ハイ・ローヤー一一八号（一九九五年）

「最新判例の核心にふれる！——最高裁判破棄判例を素材にして」（共著）法学セミナー四九五号（一九九六年）

「取り消すべき債務の保証と保証人の取消権」ハイ・ローヤー一二三三号（一九九六年）

「建物請負契約における請負人・注文者の破産——建物所有権の帰属、請負報酬債権と敷地抵当権を中心に」ハイ・ローヤー一二一八号（一九九六年）

「不法行為責任と求償権」ハイ・ローヤー一四九号（一九九七年）

「相殺の担保的機能とその拡張」ハイ・ローヤー一三三三号（一九九七年）

「公法・私法の交錯と比較法」（共著）比較法文化（駿河台大学比較法研究所）一〇号（二〇〇一年）

- 「短期貸借の保護」別冊法学セミナー〈基本法コンメンタール〉『物権』第五版」平成一四年までの法改正に対応」（共著・分担執筆）（日本評論社、二〇〇二年）
- 「労務供給契約」法学セミナー五八六号（二〇〇三年）
- 「日常家事代理権の越権行為と一一〇条」法学セミナー五九六号（二〇〇四年）
- 「被害者の素因と七二二条二項」法学セミナー六〇〇号（二〇〇四年）
- 「同時履行の抗弁権（民法五三三條）」別冊法学セミナー〈基本法コンメンタール〉遠藤浩・鎌田薫編『債権各論Ⅰ（契約）』第四版」（平成一六年民法現代化「第四版」新条文対照補訂版）（日本評論社、二〇〇五年）
- 「抵当建物使用者の引渡しへの猶予（民法三五九條）」別冊法学セミナー〈基本法コンメンタール〉遠藤浩・鎌田薫編『物権（平成一六年民法現代化「第五版」新条文対照補訂版）』（日本評論社、二〇〇五年）
- 「抵当権者の同意の登記がある場合の賃借権の対抗力（民法三八七條）」別冊法学セミナー〈基本法コンメンタール〉遠藤浩・鎌田薫編『物権（平成一六年民法現代化「第五版」新条文対照補訂版）』（日本評論社、二〇〇五年）
- 「日常家事代理権の越権行為と一一〇条」椿寿夫Ⅱ中舎寛樹編『解説類推適用からみる民法』（日本評論社、二〇〇五年）
- 「被害者の素因と七二二条二項」椿寿夫Ⅱ中舎寛樹編『解説類推適用からみる民法』（日本評論社、二〇〇五年）
- 「未成年者の日常生活行為と九条ただし書」椿寿夫Ⅱ中舎寛樹編『解説類推適用からみる民法』（日本評論社、二〇〇五年）
- 「契約と単独行為」椿寿夫Ⅱ新美育文編『解説 関連でみる民法Ⅰ』（日本評論社、二〇〇七年）
- 「委任などの労務供給契約」椿寿夫Ⅱ新美育文編『解説 関連でみる民法Ⅱ』（日本評論社、二〇〇七年）一五八頁

「温泉権と最近の裁判例―何処へ行く温泉権―」温泉七六号（二〇〇八年）

「寄与度」椿寿夫・中舎寛樹編著『解説新・条文にない民法』（日本評論社、二〇一〇年）

「製造業における法律問題（3）…医療品・化学製品」藤川信夫∥松嶋隆弘編『エッセンシャル ビジネス法務』（芦書房、二〇一一年）

「第三者による個人連帯保証を原則禁止とする金融庁新監督指針について」JA金融法務四八四号（二〇一一年）一四頁

「連帯債務における免除特約」法学セミナー六八四号（二〇一一年）

「連帯債務の成否と連帯特約」法学セミナー六八四号（二〇一一年）

「債権譲渡禁止特約」法学セミナー六八四号（二〇一一年）

「第三者のためにする契約の意義と民法五三七条二項の強行法性」椿寿夫編『民法における強行法・任意法』（日本評論社、二〇一五年）

「代価弁済・抵当権消滅請求」鎌田薫ほか編『〈新基本法コンメンタール〉物権』（日本評論社、二〇二〇年）

【判例研究（判例評釈、判例解説など）】

「建築基準法六五条所定の建築物の建築と民法二三四条一項適用の有無―最高裁平成元年九月一九日第三小法廷判決―」ジュリスト九六一号（一九九〇年）

「不作為不法行為の成立要件―遊びの仲間のルール上への置石と不作為の不法行為責任」駿河台法学四卷一号（一九九〇年）

「土地・建物の共同担保において建物が滅失し再築された場合と法定地上権の成否―東京地裁平成四年六月八日執行処分」ジュリスト一〇一五号（一九九三年）

「共同不法行為者間の求償権行使と民法七〇八条の類権適用―名古屋地平成四年一月九日判決」ジュリスト一〇五〇号（一九九四年）

「原野商法の違法性」〈別冊ジュリスト一三三三三号〉『消費者取引判例百選』（有斐閣、一九九五年）

「藤井寺球場事件―ナイター工事続行差止静穏環境維持の仮処分決定」〈別冊ジュリスト一二二六号〉『公害・環境判例百選』（有斐閣、一九九九年）

「武蔵野市マンション日照妨害事件」〈別冊ジュリスト一七一七号〉『環境法判例百選』（有斐閣、二〇〇四年）

「内縁夫婦の一方の死亡と居住不動産の利用関係」伊藤進編『民法判例演習』（北樹出版、二〇〇五年）

「ペット犬の糖尿病による死亡と獣医師の不法行為責任」私法判例リマックス三三二号（二〇〇六年）

「公共工事の前払金にかかる預金払戻請求権と貸付債権との相殺の可否（名古屋高金沢支判二二年七月二三日判決）」判

例評論六一八号（二〇一〇年）

「七二二条二項にいう「過失」の意味」松本恒雄Ⅱ潮見佳男編『判例プラクティス民法Ⅱ債権』（信山社、二〇一〇年）

「過失相殺能力と被害者の過失相殺能力」松本恒雄Ⅱ潮見佳男編『判例プラクティス民法Ⅱ債権』（信山社、二〇一〇年）

「被害者『側』の過失の意味」松本恒雄Ⅱ潮見佳男編『判例プラクティス民法Ⅱ債権』（信山社、二〇一〇年）

「被害者『側』の過失―無償同乗における運転者」松本恒雄Ⅱ潮見佳男編『判例プラクティス民法Ⅱ債権』（信山社、

二〇一〇年）

「別除権行使による主たる債務の弁済と開始時現存額主義の適用の可否」潮見佳男ほか介編『金融・消費者取引判例の分析と展開』（金融・商事判例増刊二二三六号）（経済法令研究会、二〇一〇年）

「融資と建物建築とが一体となった提案と銀行・建築会社担当者の説明義務」潮見佳男ほか編『金融・消費者取引判例の分析と展開』（金融・商事判例増刊号二二三六号）（経済法令研究会、二〇一〇年）

「重度の自閉症児の福祉施設における事故死についての損害賠償につき、重度障害者も健常児並みに就労の機会が増えつつあるとして、一定程度の就労の可能性を認めて逸失利益が認められた事例―青森地裁平成二十一年一月二五日判決」法律のひろば六六巻九号（二〇二二年）

「マスター・フランチャイザーによるフランチャイズ契約の更新拒絶とサブ・フランチャイザーに対する損害賠償責任」私法判例リマックス四七号（二〇一三年）

「人身傷害補償条項に基づき人傷保険金を支払った保険者による請求権代位の範囲とその計算方法―最高裁第一小法廷平成二十四年二月二〇日判決」法律のひろば六七巻三号（二〇一四年）

「コンビニエンス・ストアのフランチャイズ契約におけるフランチャイザーのフランチャイジーに対する見切り販売による値引きを禁止する言動と独禁法による禁止該当性…セブン・イレブン値引き制限訴訟判決」東京高裁平成二五年八月三〇日判決、福岡高裁平成二五年三月二八日判決、福岡地裁平成二五年三月二八日判決」私法判例リマックス五〇号（二〇一五年）

「遅延損害金の起算日」交通事故判例百選「第五版」（別冊ジュリスト二二三三号）（有斐閣、二〇一七年）

「五三七条の第三者（五三七条二項）」伊藤進監修『改正「債権法」における判例法理の射程―訴訟実務で押さえる

べき重要論点のすべて』(第一法規、二〇二〇年)

「手付と履行の着手(五五七条一項)」伊藤進監修『改正民法「債権法」における判例法理の射程…訴訟実務で押さえるべき重要論点のすべて』(第一法規、二〇二〇年)

「手付の倍額償還解除と現実の提供の要否(五三七条一項)」伊藤進監修『改正「債権法」における判例法理の射程—訴訟実務で押さえるべき重要論点のすべて』(第一法規、二〇二〇年)

【その他(書評、講義録、反訳など)】

〈座談会〉「遠藤浩先生を囲んで—遠藤浩先生の人と学問—」二〇〇二年〈遠藤浩先生傘寿記念論集〉『現代民法学の理論と課題』(第一法規出版)

〈書評〉「吉井啓子」フランス民法典における動物の地位—動物保護法制に関するアントワヌ報告書」獨協ロー・ジャーナル二号(二〇〇七年)

「役務提供契約—請負・委任を中心に／民法(債権法)改正の動向寄付講座」(明治大学法科大学院寄付講座…二〇一一年度講義録)(明治大学法科大学院、二〇一二年)

「役務提供契約—請負・委任を中心に／民法(債権法)改正の動向寄付講座 最新の動向を踏まえて」(明治大学法科大学院寄付講座…二〇一二年度講義録)(明治大学法科大学院、二〇一三年)

「役務提供契約—請負・委任を中心に／民法(債権法)改正の動向寄付講座 中間試案を踏まえて」(明治大学法科大学院寄付講座…二〇一三年度講義録)(明治大学法科大学院、二〇一四年)

「役務提供契約―請負・委任を中心に／民法（債権法）改正の動向寄付講座 改正要綱仮案を踏まえて」（明治大学法科大学院寄付講座：二〇一五年度講義録）（明治大学法科大学院、二〇一五年）

「役務提供契約―請負・委任を中心に／民法（債権法）改正の動向寄付講座 法律要綱案・法律案を踏まえて」（明治大学法科大学院寄付講座：二〇一五年度講義録）（明治大学法科大学院、二〇一六年）

「物損と慰謝料」（シンポジウム 物損をめぐる実務と法理） 交通法研究四七号（二〇一九年）「シンポ報告・反訳」